

○当社は、i-Constructionが標準となる近い将来を見据え、ソフト・ハード両面での体制強化及び技術者の負担を減らし、働きやすい業界に変革するため積極的に取り組んでいます。

マシーンコントロールによる敷均し



マシーンコントロールによる法面仕上げ



GNSSを用いた盛土の締固め管理状況



過重判定装置付きバックホウ使用状況



現場の声

【施工】

- LS測量による3D起工測量及び出来形測量並びに設計データ作成を行い、ICT建機（MCブルドーザー、MCバックホウ、GNSSを用いた盛土の締固め管理システム、過重判定装置付バックホウ）はレンタルにより工事を行った。
- LS測量により起工測量することで実施3日で完了(1週間短縮)、また日々の測量作業が大幅に軽減され、その時間を他の業務に有効活用することができたが、設計データ作成を確実なものにする必要がある。
- 過重判定装置付きバックホウを使用し過積載防止対策も実施した。

【受注者】

- 施工箇所が複雑な形状の盛土工事であり、ICT建機を取扱うオペが、施工管理業務の一部を担うことになるため、オペの選定、現場の施工(進歩)確認及び機器トラブル等の連絡調整が重要である。費用対効果については、今後の普及状況によって、さらに改善されていくことを期待する。

【協力業者】

- ICT建機の活用で経験の浅いオペレーターでも高精度に仕上げることができた。モニターで施工面を確認できるので、手元作業員の必要性が無くなり、接触事故防止ができ、且つ、丁張り待ちや測量ミスによる手戻りがなかった。